

週刊 タバコの正体

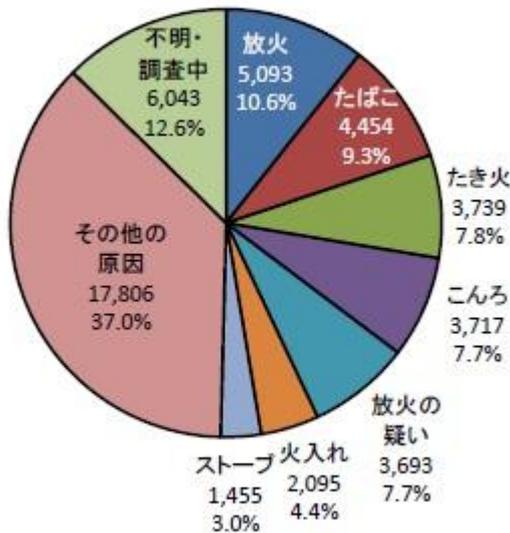
「火のないところに煙は立たない」という言葉を聞いたことがありますか。煙が上がっていると言う事は何か燃えている証拠なのです。つまり、タバコの煙と火は切っても切り離せない関係です。

タバコの煙は人々の健康や命にまで悪影響を与えることは、多くの人がよく知っていることですが、実はタバコの“火”も社会や人々に大きな損害や被害を与えることがあるのです。

タバコの火は火事の原因となるからです。

出火原因 全火災48,095件の内訳

総務省 報道資料から



平成25年(1月～12月)における 火災の状況(確定値)

グラフのようにタバコの火は出火原因の2位で10%近くも占めています。一見消えたように見えても、完全に消えていないタバコの火は、右の映像のように1～2時間後に燃え始めます。

非常に怖いですね。そして、喫煙者はタバコの火の始末を確実にを行う重大な責任を背負わなければならないと思いませんか。

こんなリスクを冒してまでタバコを吸う必要はありませんよね。

産業デザイン科 奥田 恭久



札幌市「防災・防犯・消防」サイトから